



互いに違うキャリアを進んで出合った福祉の仕事 いつまでも初心を胸に そして 一歩ずつ!

あけましておめでとうございます。「今年はどんな年にしよう」と抱負を胸に抱いたり、初心を思い出したりする人も多いのではないのでしょうか。**特別養護老人ホームグランツアでも、そんな思いを持った中途採用の新人職員が、未経験だった介護の仕事に励んでいます。**昨年6月に入職した東陸未さん(25)と、10月に入職した鍋本登巳さん(23)。今回は、それぞれの初心や抱負を紹介します。



「職業として福祉との出会い、新しい自分に出合った気がします。」と語る東さん(左)と鍋本さん(右)。気付きを得ながら、成長して行ってほしいですね。(写真は、感染予防に気を配った上でマスクを外して撮影しています。)

介護って3Kと呼ばれている。苦手かなと思ったが、人に向き合う難しさとともに、感謝される喜びも見えてきました。という東さん。以前勤めていた工場で右手に障がいが残るだけを負い、リハビリ中の2年間は家に引きこもっていました。しかしその間、福祉関係の仕事に興味湧き、社会復帰を目指す中で名張育成会の中途採用に出会いました。

当初は排せつ面の介護に不安があったものの、サッパリされた穏やかな表情を見ると、言葉を交わしていなくても「ありがとう」という思いが伝わってくる。時には拒まれることもあります。が、「でもその気持ち、分かります。排せつの世話をされるって、恥ずかしいですよね。」と、相手を思いやる言葉に、尊厳を守る支援者としての自覚を垣間見ました。

将来は子どもの福祉分野にも取り組み、資格を取って専門性を高めたという東さん、既に夢は広がっています。



「車イスに移って足を下す時でも、その人なりのリズムがあるんですよ。」ヒザの硬さにも個性があると気が配れるようになった。

もう一人前ね!



何事も初体験、丁寧に指導してくれる先輩の存在はありがたい!

自分の性格が活かせる仕事を求めていた。というのは鍋本さん。前職は金融商品の営業マンで、「気の弱さや優しい性格がマイナスになって、仕事が辛かった。」と悩んでいました。そんな時、福祉関係に勤めている姉の勧めで介護職に興味を持ち、色々な法人のホームページをチェック。そこで「人を支援することを通じて私たちも輝きたい」という理事長の言葉に気付きを得て、応募しようと思いました。

入職してまだ数カ月ですが、「利用者さんの健康や安全を預かる仕事。責任に重圧を感じることもありますが、この私を頼りにしてくれている。そこがうれしいんです。」と、優しい性格がプラスとして活かせ自信にも繋がっているようです。豊富な経験を持つ利用者さんとの会話では気付きを得ることも。自分を活かす“足場”を見つけた喜びがにじむ、柔らかな笑顔が印象的でした。



新人二人にとって、田浦所長は兄貴分のような頼もしい存在。「いつまでも初心を忘れないで!」と心で励ましている。

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索

児童発達支援センター〈どれみ〉



食後の遊び～ どれみにある玩具

よく、「どのような玩具で遊んでいるの?」というご質問をいただくので、今回は数ある中から、「ニューブロック」を紹介します。

大きめで柔らかく様々な形があり、創造性を養います。また手指を使い、器用さを発達させることにもつながります。乗り物、線路、家など何をどのよ

うに作るのか、一人で遊ぶか友だちと協力するかなど、すべてを子どもに任せ、その様子を観察します。

様々な玩具を通して、人との関わりや生活につながる手の動きや姿勢を学習し、成長している子ども達です。これからも、保護者と一緒に見守っていきたいと思っています。



▲ブログはコチラ

ぱれっと

合同避難訓練



ぱれっととは、ジョブサポート・ハオ、の一まらいふ暖、ホームヘルプサービス ゆーゆが入居している合同事務所、今回「地震とそれに伴う火災の発生」を想定した合同避難訓練を行いました。

午後1時に地震発生、まずヘルメットを被り机の下で地震の収束(今回は2分)を待ちます。その後、各自の役割に従い避難行動を開始。出火したキッチンでは初期消火、そして取り残された方がいないか確認をしながら退避。屋外での点呼で全員の無事を確認し、総括をした後訓練を終了しました。

今回は、避難訓練を突然実施することも検討しており、日々の防災意識向上に努めてまいります。



▲ブログはコチラ

施設入所支援〈成美〉



ソフト食の取り組み

成美では、ペースト食や、さざみ食あんかけを廃止し、ソフト形成食の導入にスタッフ全員で取り組んでいます。

ソフト食とは、見た目はそのまま、歯茎や舌で簡単に押しつぶすことができるほど柔らかくした食事のこと。食材をミキサーなどにかけてもう一度固めれば、元の形に近い状態にできます。より美味しく食事

をしてもらいたい!という思いで試行錯誤し、市販品より固さや味付けが調整できる安全なものが提供できそうです。

写真はハンバーグとチキンナゲット。形も味も変わりません!さらに改良して、早くみんなに食べていただきたいです。



▲ブログはコチラ

ご寄付のお礼

昨年も多くの方より心温まるご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

- | | | |
|--------------------|-----------|------------------|
| ・株式会社百五銀行 桔梗が丘支店 様 | ・福原妙子 様 | ・うえやま農園 植山明彦 様 |
| ・名張ロータリークラブ 様 | ・後援会虹の会 様 | ・株式会社南都銀行 名張支店 様 |
| ・カーブスマックスパリュ名張 様 | ・田畑博 様 | ・匿名希望 |
| ・日榮新化株式会社 様 | ・藤原淑隆 様 | |

(順不同)



(表面より) 職員の夢をサポートしたい

「特別養護老人ホームは、終の住処。覚悟を持って入所されている人ばかりです。一人ひとりの背景をよく理解して、日々寄り添うことが必要ですね。」と話すのは、田浦所長。昨年度に名張育成会に入職するまでは、居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤めていました。グランツアの所長になって、利用者はもちろん、その利用者を支える職員の心身の状態にも気を配る日々。「どんな仕事でもそうだが、すべての職員に、名張育成会への志望動機や思い描くゴール=夢があるはず。その道筋をサポートするのが、私の仕事です。」と力強く話します。似た時期に入職した若い東さん、鍋本さんには「一緒に成長していきましょう!」と激励の言葉をかけていました。

介護って「大変」だけじゃない! 「私がこの仕事をする意義」をしっかりとつかんでいる新人お二人の様子と、それを支える所長の笑顔が素敵でした。



今月の取材は、広報委員会記者U子が担当しました。
(イラストレーター・ライター、名張市在住)



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271